

動物実験計画書

京都産業大学 学長 殿

受付番号		No. 20 —
提出日		年 月 日
動物実験 責任者	学部・学科	
	氏 名	
	内 線	

京都産業大学動物実験規程第5条に基づき、下記動物実験計画について申請します。

実験テーマ	(新規・継続)		
実験目的			
実験期間	年 月 日～ 年 月 日 ※終了日は当該年度末 (3月31日)までとする		
実験内容	1 薬物・生物製剤効果 7 生理機能 13 人工臓器 2 臓器・血清など採取 8 移植 14 遺伝・育種 3 免疫機能 9 治療・技術の開発 15 行動観察 4 発癌機序 10 ホルモン 16 その他 5 癌治療（薬物等効果） 11 代謝・再生（ ） 6 炎症 12 毒性		
実験方法			

共同研究者 又は 実験補助者							
			※記載欄が不足している場合は別紙名簿を要添付				
使用予定 動物種及び匹数	動物種	系統		週令	体重	♂(匹)	♀(匹)
飼育場所							
実験場所							
安全管理上注意 を要する実験	いいえ はい 1 遺伝子組換え実験：□申請中 □承認済（承認番号 ） 2 病原微生物投与 3 毒物・発癌物質投与 4 RI実験						
動物実験を必要 とする理由	1 代替手段がない 3 代替手段の経費が莫大 2 代替手段の精度が不十分 4 その他（ ）						
想定される動物 への苦痛度分類 （苦痛分類「SCAW のカテゴリー」参照／「実験方法」 欄に動物の苦痛軽減方法について詳細を記入）	B 脊椎動物を用いた研究で、動物に対してほとんど、あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験操作 C 脊椎動物を用いた実験で、動物に対して軽微なストレスあるいは痛み（短時間持続する痛み）を伴う実験 D 脊椎動物を用いた実験で、避けることのできない重度のストレスや痛みを伴う実験 E 麻酔していない意識のある動物を用いて、動物が耐えることのできる最大の痛み、あるいはそれ以上の痛みを与えるような処置						
苦痛排除法	1 軽微な苦痛の範囲内ため特に処置は講じない 2 実験の都合上24時間以上の保定・拘束はやむを得ない 3 麻酔薬等を使用する（薬剤名： ） 4 人道的エンドポイントを適用する 5 その他（ ）						
実験終了後 の処置	1 麻酔薬等の過剰投与による安楽死（薬剤名： ） 2 炭酸ガスによる安楽死 3 その他（ ）						
その他 補足事項							

※以下委員会記入欄

動物実験委員会 記入欄	審査日： 年 月 日 可 条件付可 不可 （理由） 1 遺伝子組換え実験の承認がされれば可 2 その他：
	学長承認欄 承認日： 年 月 日 学長 (印)